

呉工業高等専門学校教授による公開講座 「ヘキサフレサゴン」(からくり折り紙)

8月29日(土)13時から、二川まちづくりセンター:ホールで、公開講座を行いました。講師は、呉工業高等専門学校 准教授 赤池 祐次先生で、「ヘキサフレサゴン」(からくり折り紙)という内容で実施しました。隠れた面が現れる六角形を帯状の紙から作るという内容でした。

はじめは緊張していた子供たち(3年生)でしたが、折り紙の不思議さと楽しさに次第に引き込まれて、あっという間の90分でした。学んだことを家族の皆さんや友達に伝えてもらえれば、その楽しさは、2倍、3倍いや10倍になるかもしれませんね。



来年も夏休み中に、児童対象の公開講座を開催したいと思います。参加してくれた子供たちは、とても満足していました。

来年は、より多くの子供たちに参加してもらえれば幸いです。

第 36 回 呉市女性卓球大会のお知らせ

主催 公益財団法人呉市体育振興財団
主管 呉卓球協会 後援 呉市・呉市体育協会
日時 令和2年10月27日(火) 午前9時(受付:8時30分~)
場所 IHI アリーナ呉(呉市体育館)
競技方法 公式シングルスで6階級年齢トーナメント及びリーグ戦(すべての部門)
締切 令和2年10月10日(土) 関係者には連絡済み



【 有名人の名言より 】

「幸せとは、すべてのものに関わりがあると感じること」

サン・テグジュペリ

人はあらゆるものに関わり合って生きています。きらきら輝く太陽、天地を濡らす雨、誰にも気づかれぬように咲いている小さな花、鳥、家族、友達・・・それらとの関わりすべてが自分を支えてくれています。そして、そのことに気づくことができる幸せだ。今日は、どんな人やものに囲まれているのか探すと共に感謝の気持ちを持ちましょうとサン・テグジュペリは述べています。



サン・テグジュペリは、フランスの作家です。また、飛行士でもありました。

自分と関わっている人、ものに思いを巡らせると、いろいろなものに支えられて生きていくことができるでしょう。いろいろのものと関わりを感じ、豊かな心で日々の生活を送りたいものです。

関わりを感じるということは、自分の存在感を感じたり、安心感を得たり、充実感を味わったりすることにもつながると思います。



令和2年9月1日 中国新聞 「ヤングスポット」より

「積極的にあいさつを」 広島市小学生男子児童

僕たちが住む広島市佐伯区五日市町石内では、あいさつを大切にするという良き伝統があります。学校では積極的にあいさつをする習慣を身につける行事にも取り組んでいます。しかし、最近あいさつをする人をあまり見なくなった気がしています。なぜそのようなになったのか、理由を考えてみました。新型コロナウイルスで「3密」回避やマスク着用といったことも原因では、というクラスの声も目立ちます。あいさつは面倒、と思っている人が増えているのかもしれない。それはあいさつをするメリットを理解していないからだだと思います。あいさつをすることでコミュニケーションが生まれます。うまく会話の糸口をキャッチできたら、社会人になったときの自信になります。積極的にあいさつをすることは、認め合うことでもあり、生きていく上で重要だと思います。